

地理で経済を教える

～地理的見方・考え方を鍛える～

立命館大学

河原 和之

自己紹介

< 略歴 >

関西学院大学社会学部卒

東大阪市立公立中学校で30数年勤務 東大阪市教育
センター指導主事を経て縄手中学校退職

< 現職 >

立命館大学、大阪教育大学など6校非常勤講師

< 他 >

授業のネタ研究会常任理事

NHKわくわく授業「コンビニから社会を見る」2003
年放映

月刊誌「社会科教育」連載中

著書紹介

- 『100万人が解きたい 見方・考え方を鍛える「中学地理」ワーク「歴史」「公民」
(明治図書) 2021
- 『見方・考え方を鍛える「中学地理」大人もハマる授業ネタ」「歴史」「公民」
(明治図書) 2019
- 『100万人が受けた社会科アクティブ授業モデル』(明治図書) 2017
- 『続100万人が受けた「中学地理」ウソ・ホント?授業』「歴史」「公民」(明治図書) 2017
- 『クイズ主権者教育』(学芸みらい社) 2017
- 『よくわかる貿易』(PHP研究所) 2016
- 『中学校社会科授業成功の極意』(明治図書) 2014
- 『「本音」でつながる学級づくり 集団づくりの鉄則』(明治図書) 2014
- 『大人もハマる地理』(すばる舎) 2013
- 『100万人が受けた「中学地理」ウソ・ホント?授業』「歴史」「公民」(明治図書) 2012
- 『15歳からの経済入門』[共著](日経ビジネス人文庫) 2012
- 『活用探究力を鍛える「歴史人物42人穴埋めエピソードワーク」[編著](明治図書) 2009
- 『歴史リテラシーから考える近現代史 面白ネタ授業』(明治図書) 2007

今日のお話し

- I “くまモン”から地理的見方・考え方へ
- II 地理学 5 大テーマとは
- III 新潟県の米づくり～「位置」「分布」「場所」～
- IV 静岡県のお茶栽培～「歴史」的背景を軸に～
- V 川上村のレタスづくり～「空間的相互依存体系」～
- VI 沖縄の第二次産業の割合が小さいワケ
- VII バラ生産の変化～「空間的相互依存体系」～

！ くまモンの赤色は？

～ネタのツボって何？～

ちょっと「深めて」みよう！～見方・考え方～

市場・需要・供給・付加価値

<今帰仁スイカのキャッチコピー>

一度でいいから（ ）でスイカを
食べてみたかった！（沖縄県は全国12位）

* スイカ生産ベスト5

熊本
千葉
山形
新潟
長野

さらに深めてみよう！見方・考え方

～熊本平野と阿蘇山から流れる白川、緑川～

＊熊本県の農業生産額は全国6位である。その要因は、三方を山に囲まれ、夏と冬の気温差や一日の寒暖差が大きいことである。
(熊本市では日較差が()度という記録もある)寒暖差が大きいと甘い果実や美味しい米ができる。

＊熊本産の「ヒノヒカリ」が美味しい米、1位に選ばれたこともあり、熊本平野は、阿蘇山の噴火活動で大量の噴出物が川に流れ込み、それが平野を作った。火山性堆積物で、上層は黒色ローム、赤土、下部は軽石、火山礫などから豊富な栄養から成る。これが養分となり農作物に影響を与える。

八代平野と日本三大急流の球磨川

＊八代平野は、日本三大急流の一つである球磨川などの河川が運んでくる堆積物の影響で比較的水深が浅く、そのため埋め立てが比較的容易で、現在の平野の半分以上は干拓により造成された土地である。

＊干拓地で栽培されているのが「塩トマト」である。普通のトマトの糖度は5度程度だが、塩トマトは8～10度程度となっており、小ぶりだが、糖度が高くフルーツのような甘さが特徴である。

塩トマトと希少性

廃棄されていた塩トマト

<甘さの秘密>

- ・寒暖差のある気温
- ・干拓地なので土壌の中に塩分が多く含まれている
- ・トマトが塩水を吸収しないので、果実まで水分が行き渡らなく、大きくはならないが、味の濃い甘いトマトに育つ。
- ・普通のトマトは通年流通しており、露地物の旬は6～8月頃となっている。
- ・塩トマトは一般的には12～5月頃の比較的寒い時期にだけ流通している。そのため、高価格で販売される

マイナスからプラスへ ～人間と自然との相互依存関係～

火山である阿蘇山、急流の球磨川から災害などのマイナスの影響を受けつつ、人間は、それに対応し働きかけ改変することにより相互依存を築いている。

地理的見方・考え方

「なぜそこでそのようなことが見られるのか？」

「なぜそのように分布したり移り変わったりするか？」

「地理的事象を成り立たせている背景や要因を、地域という枠組みの中で、地域の環境条件や他地域との結びつきなどと人間の営みに着目して追究する」

→地理的経済的見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決する

→広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者

II 地理学の5大テーマ

(学習指導要領の趣旨から発表者が一部改変)

(1) 位置や分布

・それはどこに位置するのか (規則性) それはどのように分布するのか? (絶対的位置と相対的位置)

(2) 場所

・自然的、人文的に多様な特徴を示す、地形、土壌、気候、水、植生、動物、人間生活など

(3) 人間と自然との相互依存関係

・そこでの生活は、周囲の自然環境からどのような影響を受けるか? 人々は自然環境に働きかけ、自然を改変するなど影響を与えてきた

(4) 空間的相互依存作用

・資源は、不均等に分布する。資源の自給自足できる国などは存在しない。場所は、資源や情報を交換するために、運輸・通信システムにより結ばれている。・・・地域的、国家的あるいは国際的な相互依存作用。

(5) 地域

・その地域はどのような特徴があるのか他の地域ではどこが異なっているか

・変容してきた、変容していく地域も視野に入れ、過去、現在、将来を見返す視点

・地域調査に当たっては、対象地域は学校周辺とし、防災、人口の偏在、産業の変容、交通の発達などの事象から適切に設定。

中核方式「交通・通信」～学習指導要領

地域の道路や鉄道、航路や航空路、通信網などの交通・通信に関する特色ある事象を中核として、産業や人口や都市・村落などに関する事象と関連付け、交通・通信が地域の産業や人口や都市・村落などと深い関係をもっていることや、地域間の結び付きの整備が地域の課題になることについて考察する

＜事例＞「東北地方では、高速道路や新幹線、空港や港湾の整備により、どのような変化がみられるか」

Ⅲ なぜ新潟県ではコメ作いがさかんなのか？

＊日本海側（位置・分布・場所）

- ①広大な平野と川
- ②夏に降水量は少ないが、冬に（ ）
- ③太平洋側に夏に発生する（ ）がない
- ④稲の成長期や収穫期に（ ）が少ない
- ⑤一日の（ ）が大きく、美味しい米が育つ

IV 静岡県でお茶生産が盛んなワケ

お茶生産量ランキング(2018年)

農林水産統計より報告者作成

順位	府県名	年間生産量(百トン)
1	静岡県	334
2	鹿児島県	281
3	三重県	62
4	宮崎県	38
5	京都府	31

失業対策としてのお茶栽培

- ・「位置」「分布」「場所」

暖流（黒潮） 気温は $13^{\circ}\text{C} \sim 22^{\circ}\text{C}$

日光がよくあたる斜面

- ・「歴史」 徳川慶喜の静岡幽閉

大井川に橋が作られる

- ・「交通」 1899年に清水港が造られ輸出される

- ・静岡県でみかん栽培が盛んなワケ

「価格変動にともなうリスク回避」 和歌山からみかんの苗木

＊青森りんごも士族の失業対策から

どうしてお茶屋さんでは海苔 も販売されているのか？

答え 一年中商売をしていたいから・・・
畑と海？？？？

新茶ー 4月から5月（10月までお茶は生産）

海苔ー 11月から3月

共通点ー太陽が当たらず湿気の少ない場所

村瀬哲史「大人も実は知らない小学社会科のギモン」（宝島社）

V 長野県川上村シタス栽培



クイズ

①川上村では、はくさいは、昭和初期につくられたが、いつごろからレタスをつくっていたか

ア1930年 イ1945年 ウ1950年 エ1970年

②川上村には約800の農家があり、高原野菜（レタスやキャベツ）をつくっているが、一戸あたりどれくらいの売上があるか（4～11月）

ア500万円 イ700万円 ウ1000万円
エ2000万円

川上村と高速道路



技能実習生問題

- レタスの収穫シーズンになると、人口約 4 千人の村で働く[外国人技能実習生](#)は約 1 千人にもなる。
- 日本人を雇おうと時給 1 千～1 5 0 0 円を掲げるが、応募は少ない。これまで 1 0 年以上、実習生を受け入れてきた。だが、失踪は多い。やってきたのが、別の場所から失踪した[不法滞在](#)であることもある。「失踪覚悟で外国人を雇っている。もうそれしかすべがない」
- 村では数年前、中国人実習生を劣悪な環境で働かせたとして、[日本弁護士連合会](#)から改善を勧告された。それ以来、環境整備に取り組んできたという。

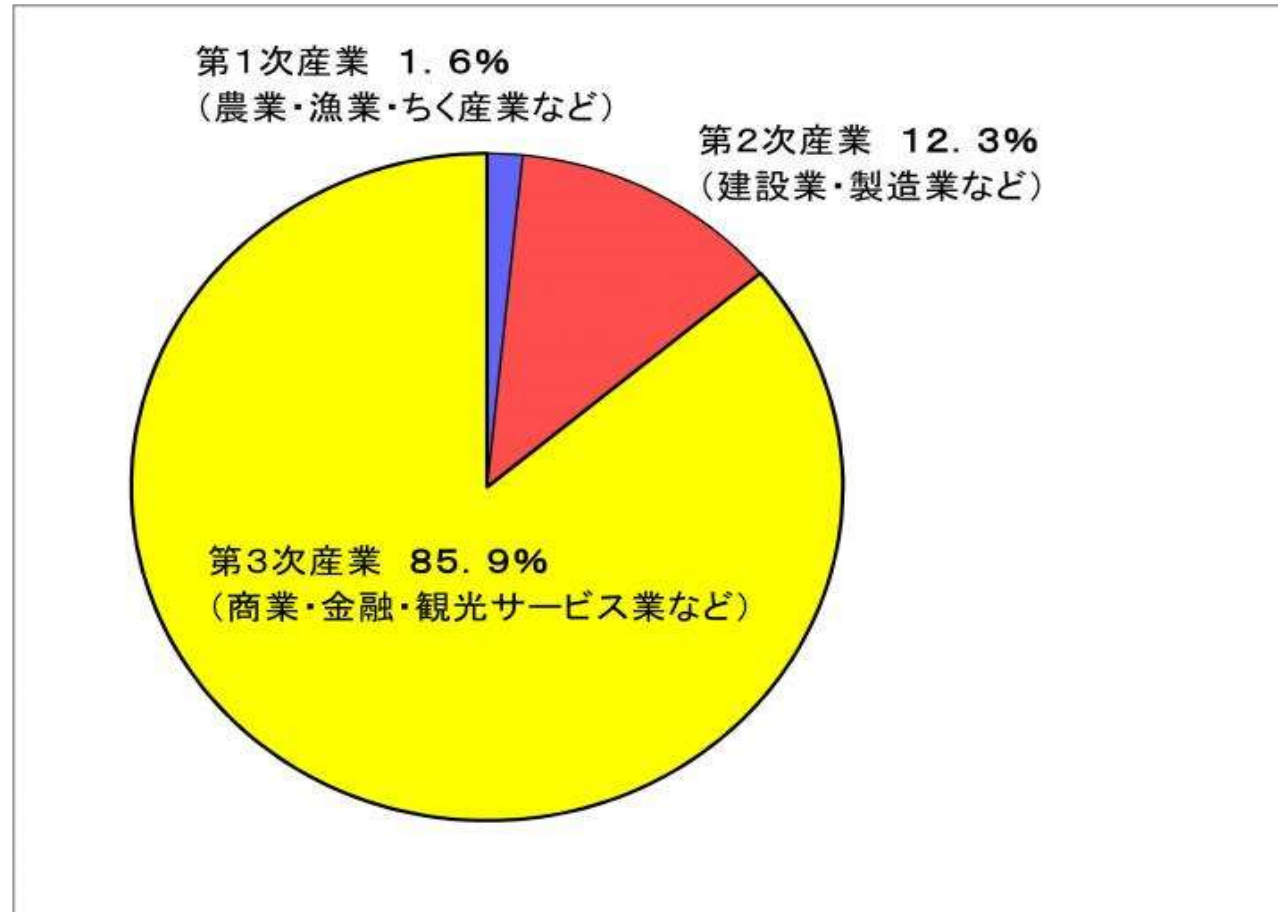
VI 沖縄県の1位～なぜ？～

- ・一人あたりのボーリング場、ゲームセンターの数
- ・一人あたりのバイク保有台数
- ・非正規雇用率
- ・合計特殊出生率
- ・子育て世帯、高齢世帯の相対的貧困率

沖縄県の47位～なぜ～

- ・ 最高気温
- ・ 登山、ハイキング人口
- ・ 神社、寺院の数
- ・ 朝日、読売新聞の購読者数
- ・ うどん店
- ・ キャベツ消費数
- ・ イカ、ブリ、わかめなど消費量
- ・ ピアノ普及率

沖縄で第二次産業の割合が小さいワケ ～「交通・通信」を中心に～（平成26年度） 沖縄県HPより



第二次産業が発達しなかったワケ

- ①沖縄の位置・場所「本土との位置関係は？」
- ②交通・通信（空間的相互依存作用）
「鉄道がなぜ作られなかったのか？」
- ③米軍基地
- ④アメリカの占領（1945年から1972年） 歴史的視点
 - * 1950年から1960年代、本土は？
 - * 1973年以降日本は？

高度経済成長

技術革新、設備投資がなされ、道路・港湾・鉄道などの輸送網、産業立地の整備など、産業基盤の整備

→開発の集中をもたらし、地域格差を生み、過密・過疎問題を引き起こす

地理的条件を生かした貿易

○那覇空港を利用した国際貨物の増大

青森りんご、山梨ぶどう、新潟米、
北海道メロン

* ヤマト運輸は小口保冷で香港へ輸出
している

VII バラの生産と空間的相互依存体系 世界の諸地域の扱い方（学習指導要領）

空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする

- ・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる**地域的特色の影響**を受けて、**現れ方が異なることを理解する**

- ・地球的課題については、グローバル化する国際社会において、**人類全体で取り組まなければならない課題、例えば、持続可能な開発目標（SDGs）**などに示された課題のうちから課題を取り上げる。【目標1】貧困

バラ栽培の盛んな国 ～位置、分布、場所～

○バラ栽培に適している自然条件

最低気温 10℃ 最高気温 25℃ 日射量が強い

○2004年の日本のバラの輸入先

オランダ(31%)インド(25%)エクアドル(10%)

ベトナム(9%)大韓民国(9%)コロンビア(7%)ケニア(6%)

財務省貿易統計(2014)

＜考えよう＞オランダから1位の座が変わりました。どこの国？（ ）

日本のバラの輸入先

- 2 コロンビア(14, 9)
- 3 エクアドル(9, 8%)
- 4 インド(8, 1%)
- 5 韓国(7, 5%)
- 6 ベトナム(6, 3)
- 1位は ケニア(44, 2%)

財務省貿易統計 (2015年)

オランダから東アフリカへ

- 1970年代 オイルショック
→ 温室で使用する燃料費の高騰
- ケニア、コロンビアへの移行
→ 赤道付近の高地にあり気温が一定で、日照時間が長い
- 人件費 オランダ:ケニア (: 1)
- 栽培方法 大規模な栽培が可能 数千本の注文にも応じる
- 輸送方法 オランダ経由からドバイ経由へ

ドバイフラワーセンター

草花栽培業の物流ハブとして2006年に開設された冷蔵保税倉庫施設。ローカルビジネスに対応したオフィス棟も併設されている。

生花、生鮮食品のグローバルな貿易が急成長していることから、これらの物流をよりスムーズに行えるよう施設が整えられている。 アフリカ(特にケニア)産の花が一度ここを経由しアジアへ運ばれるなど、再輸出のハブとして機能している。

ケニアの輸出の変化(2017年)

UN Comtradeより

茶	切花 バラ	石油 製品	衣類	野菜	その他
24,9	9,4	6,1	5,5	3,6	46.6

習得できる経済概念

<主たる経済概念>

希少性 交通・通信 貿易 付加価値

<他の経済概念>

市場イノベーション
労働賃金
輸入円安
需要イブ消費地
需要イブ消費地
賃金輸出基地
供給失地
失業対策モノ
競争力
産業構造の経済
有効活用
比較優位
雇用
高度経済成長
石油危機

最後に 学生(大阪成蹊大)の模擬授業

ゴーヤから考える沖縄の歴史と気候・文化

1 ゴーヤ、好きですか？

2 ゴーヤ生産量

<クイズ> 沖縄では、年間7346 t (2018年)を生産しています。日本全体の何%でしょう

40% 50% 60%

「40,6%」であり、第二位宮崎県と第三位鹿児島県をあわせると約60%の生産量である。

3 ゴーヤの歴史

<考えよう> 「ゴーヤは沖縄が原産地で江戸時代に全国に広まった」というのは“ウソツ”“ホント”？

答えは「ウソツ」である。インドから東南アジアをへて14世紀末に中国に、そして、江戸時代初期に沖縄（当時は琉球王国）に伝わった

4 沖縄でゴーヤが食べられるワケ

* 沖縄の雨温図を示す。

<グループ討議> 気候から考えて、沖縄でゴーヤ消費量が多い理由を
考えよう

「苦さで暑さを忘れる」 （笑） 「あの苦みは暑さを吹っ飛ばす」

「ゴーヤチャンプルって、いろんな野菜を混ぜるから夏バテ対策になる」「熱中症を防ぐ成分があるとか？」

維多利亞時代、琉球・交易
健康食。沖縄の縄文・交流
は、しがてら、縄文・交流
食事とだれは、縄文・交流
野菜、蛇、沖繩の縄文・交流
あだたでる。販通して
がたれスがあるを
方は、さー文化、海を
えは、用ケ文化、め、言える
考で使、文化、め、言える
の縄もく、ぜくも
風沖てな、ぜくも
中国。しは、混ぶと域
中たと様ア地
うい薬つ同ジる
いてのづーアい
とれ防缶ル南て
「ら予一プ東っ
源えテガンや育
同考バ」ヤ国が
食と夏ンチ中化
医薬、キヤ、文
「のくチーら合
はめな一ゴか複
にたはシ、代、
縄るで「は時り、
沖すのはれ国あ
＊持るでこ王が

まとめ 意欲的に学べる授業の法則

